

令和7年7月14日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長
(防災研究所長)

堀 智晴

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした組織であり、平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、教員は教員組織としての学系に所属し、部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. **職 種**： 助教
2. **募集人員**： 1名
3. **所 属**： 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所**： 京都大学防災研究所
地盤研究グループ 地盤災害研究部門 山地災害環境研究分野
(所在地：宇治市五ヶ庄)
大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
5. **職務内容**：
山地災害の軽減に向けたハザード評価実現のため、地質・地形踏査、斜面での水文・地盤変状観測、地盤材料の物理・化学試験、地理空間情報解析などに基づき、岩盤の風化や変形、斜面の崩壊・侵食過程について現象の解明とモデル化を推進する。特に、現地での調査・観測と室内での試験・解析などのアプローチを組み合わせ、岩盤の物理化学風化と自重変形ならびに水文現象の相互作用による風化帯の形成とそれに基づく斜面ハザードの評価などについて先端的な研究に取り組む。教育面では、理学研究科地球惑星科学専攻の教育を担当する予定である。
6. **資 格 等**： 博士の学位を有すること（着任までに取得見込の場合を含む）。
7. **採用予定日**： 選考後、可能な限り早い時期

8. **任 期：** 6 年（再任可。ただし 1 回限りとし、再任の場合の任期は 4 年、再任は「京都大学防災研究所任期付き教員（助教）の業績評価の進め方についての申合せ」により判断）
9. **試用期間：** あり（6 ヶ月）
10. **勤務形態：**
- ・ 専門業務型裁量労働制を選択した場合は、1 日 7 時間 45 分相当、週 38 時間 45 分相当
 - ・ 専門業務型裁量労働制を選択しない場合は、週 5 日 8:30～17:15 勤務（休憩 12:00～13:00）
 - ・ 超過勤務を命じる場合あり
 - ・ 休日：土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始、創立記念日
11. **給与・手当等：** 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険：** 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、及び労災保険に加入
13. **応募方法：**
- 次の（1）～（6）各一式の書類を封入の上封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、書類提出先へ書留扱いにて郵送、または持参してください。電子メールやインターネットを通じた申請は受理いたしません。
- （1）履歴書
 - （2）研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - （3）主要論文別刷（コピー可）5 編
 - （4）研究業績の概要（A4 用紙 2 ページ以内）
 - （5）今後の研究計画及び抱負（A4 用紙 2 ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - （6）2 名からの推薦書（推薦書に代えて、応募者について意見を伺える方の氏名と連絡先でも可）
14. **書類提出先：**
- 〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
地盤災害研究部門 山地災害環境研究分野 助教候補者選考調査委員会 宛
15. **応募締切：** 令和 7 年 10 月 6 日（月）17 時【必着】
16. **選考方法：** 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先：**
- 地盤災害研究部門 山地災害環境研究分野 助教候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff[at]dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）
（電子メールに限ります）
18. **その他：**
- （1）応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。
 - （2）京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男

女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。

- (3) 研究業績の評価に関しては、出産・育児・介護等で研究活動を休止した期間（ブランク期間）の影響を考慮します。ブランク期間がある場合は、研究業績一覧の最後に記載してください。
- (4) 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- (5) 10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

地盤災害研究部門の概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

地盤災害研究部門では、地盤災害に関連する基礎学理に根ざし、地盤災害の予測と軽減を目指した研究を展開しています。関連する学術専門分野は、地盤工学、地球物理学、地質学、地形学、水文学、地球化学、環境工学などで、多岐にわたる学際的領域となっています。

地盤災害には、液状化、地盤沈下、斜面崩壊、地すべり、土壌侵食、建設工事に伴う斜面や床盤の変形、地下水の問題、特殊土の変形や流出、地下の都市施設や地下空間の変形や陥没など多くの複雑なメカニズムを持つ現象があります。さらに、人間の社会活動の拡大によって、地盤災害の発生場も、山地から丘陵の傾斜地、低平地、水際地盤にまで多様化してきました。

本研究部門では、このように多様な環境下における地盤災害現象の発生と挙動の研究、地盤災害ハザードマップの作成手法と災害軽減手法の開発などを主要課題として掲げ、分野横断的な理工融合の学際研究を推進しています。なお、本研究部門は下記の3分野で構成されています。

地盤防災解析研究分野

人間活動が集中する大都市平野部における地盤災害に焦点を当て、遠心力載荷実験や数値解析に基づき、地震時における水際低平地の地盤災害、地盤・構造物系の耐震性向上のための研究を行うとともに、地盤災害防災対策への応用研究など、幅広い地盤災害問題に関わる研究を推進しています。

山地災害環境研究分野

山地災害のハザードを評価し、減災を実現するために、野外での地質・地形踏査、斜面水文観測、室内における鉱物化学分析、空間情報解析などに基づき、岩盤の風化や変形、斜面の崩壊・侵食、土砂の運搬・堆積の過程について現象の解明とモデル化を進め、山地災害を多階層的な時空間スケールでの現象と位置付けた研究を行っています。

傾斜地保全研究分野

沿岸から山地に至る人間の居住域近傍の傾斜地を対象に、現地調査および観測、室内試験、数理解析などのアプローチにより、地盤変状の検知や地盤構成物の物性評価、そして斜面の安定解析に関する研究を展開し、それらを組み合わせて傾斜地のモニタリングとモデリングの高度化を

進め、成果の社会実装も目指した研究を進めています。

2. 現在の教員構成（2025 年 7 月 1 日現在）

	【教 授】	【准教授】	【助 教】
地盤防災解析研究分野	渦岡 良介	上田 恭平	（空席）
山地災害環境研究分野	松四 雄騎	（空席）	（今回公募）
傾斜地保全研究分野	小暮 哲也	寺嶋 智巳	_____

なお、当研究部門は、斜面未災学研究センターとともに地盤研究グループを構成し、緊密な協力の下に地表変動による地盤災害の予測と軽減のための研究を推進しています。詳しくは、京都大学防災研究所のホームページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp> をご参照下さい。

共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

**Assistant Professor Position in the Research Section of Mountain Hazards, Disaster
Prevention Research Institute, Kyoto University**

July 14th, 2025

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for an Assistant Professor position.

Location: Research Division of Geohazards, Geohazards Research Group, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan (at home or other places if University allows or orders to work remotely).

Job description and required qualifications:

To achieve hazard evaluation for the mitigation of mountainous disaster, the appointed assistant professor is required to conduct research aimed at revealing and modelling the mechanisms of weathering and deformation of rock masses, as well as landslides and erosion on hillslopes, on the basis of geological and geomorphological field surveys, hydrological and geotechnical monitoring, physical and chemical analysis of subsurface materials, and geospatial information analysis. In particular, the candidate is expected to focus on advanced research to elucidate the interaction between physicochemical rock weathering, gravitational deformation, and hydrological processes in the hillslopes by combining ground-based investigations and monitoring with laboratory tests and analyses. Additionally, the candidate will have responsibility for education in the Division of Earth and Planetary Sciences, Graduate School of Science, Kyoto University. The candidate must hold a Ph.D. or an equivalent degree at the commencement of employment.

Anticipated start date: As soon as possible after the selection.

Term of employment: 6 years (contract is renewable once for an additional 4 years, judged in accordance with “the arrangement on evaluation of achievement for faculty staff with term of employment (assistant professor)”)

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week). If the discretionary labor system is not chosen the working hours are from 8:30 to 17:15 with a break between 12:00 to 13:00. Overtime may be ordered. Days off: Saturdays, Sundays, Statutory holidays under the Act on National Holidays, Year-end and New Year’s holidays, and Anniversary of Foundation of the University.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

- (1) Curriculum vitae
- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters from two references (a recommendation letter may be substituted by the name and contact information of a reference, including the postal address, and e-mail address)

The complete application package must arrive by the deadline of 17:00 JST, October 6, 2025 at the following address:

Selection Committee for Mountain Hazards Assistant Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

Applicants must send the package by registered mail or direct submission. Applicants are not allowed to submit it by e-mail or through internet.

For inquiries, you can send e-mail to apply staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

Additional notes

- (1) The university will not return your application documents.
Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants and never for any other purposes.
- (2) Kyoto University is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.
The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.
- (3) With regard to the evaluation of research achievements, the impact of periods of interruption in research activities due to childbirth, childcare, nursing care, etc. (blank periods) will be taken into consideration. If there are blank periods, please indicate them at the end of the list of publications.
- (4) The university prohibits smoking in all campus buildings except in designated outside smoking areas for the purpose of preventing the adverse health effects of second-hand

smoke.

Current staff (as of July 1, 2025)

Research Section	Professor	Associate Professor	Assistant Professor
Geotechnics	Ryosuke Uzuoka	Kyohei Ueda	vacant
Mountain Hazards	Yuki Matsushi	vacant	<i>This recruitment</i>
Slope Conservation	Tetsuya Kogure	Tomomi Terajima	—————